

## 令和四年 成人式 式辞

本日、晴れて成人式を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。未来への夢と希望を持ち、若さあふれる新成人の皆さんに、大木町民を代表し、心からお祝いを申し上げます。また、今日まで皆さんを愛情深く育ててこられました、ご両親をはじめ、ご家族の皆さま、そしてこれまで熱心にご指導下さいました先生方にも、心からお慶びを申し上げます。

また、中島議長、久良木区長会長におかれましては、ご多用の中ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の成人式も昨年同様、新型コロナウイルス感染症予防のため、縮小した式典とさせて頂きました。新成人の皆さんを心から祝福されている、ご家族をはじめ、ご来賓の方々にご入場いただけないのは誠に残念ではありますが、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。また皆さんには成人式後の行動においても、感染予防対策を徹底していただくなど、責任ある行動をお願いいたします。

さて、生涯における大きな節目を迎えた皆さんは、未来に向けどのような人生を歩んで行くのか、改めて考えておられることと思います。

そんな皆さんに私が送る言葉は、「何事にも無関心でいることなく、自分事として考え、行動する事」であります。

家族や友人などを思いやり、身近なことに関心を持って接することで豊かな人生を送ることが出来ます、また社会の様々な課題に関心を持ち行動することはより良い未来を切り拓くことに繋がります。皆さんはどうか何事にも無関心でいることなく、自分事として考え行動してください。そうすれば、間違いなく皆さんの人生を豊かなものにし、社会を良くする原動力になると確信しています。

現在の、未来にまで及ぶ課題の中で、一番大きなリスクは気候危機であります。これは、皆さん方を含む未来世代に深刻な影響を及ぼすことが心配されています。

大木町では、皆さんが小学校に入る前の平成二十年には、次世代につけ

を残さない持続可能なまちづくりを目指して「大木町もったいない宣言」を公表し、いち早く町ぐるみでごみの分別資源化の徹底などに取り組みました。また、令和元年十二月には「気候非常事態宣言」を国内では4番目に表明し脱炭素社会の実現に向けて動き出しています。

二〇一五年に国連において全会一致で採択され持続可能な開発目標(SDGs)は今やグローバルスタンダードとなっていますが、大木町がこれまで一貫して目指してきたまちづくりは、まさにSDGsの理念を先取りしたものでありました。皆さんもそんな町で育った事を心に止め、その経験をこれからの人生に活かしていただきたいと思います。これからも皆さんが大木町で育ったことに胸を張り、誇れるような街づくりを目指して参ります。

しかし、大木町も本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、社会が大きく変わる中で、これからのまちづくりには、若い皆さんの柔軟な発想や感性、情熱、行動力が必要になっています。これからの大木町の担い手としてまた日本の未来を託された若者として、ご活躍頂く事を心より願っています。

また、皆さんにとって、いつになっても、何処にいても大木町はふるさとであり、ご家族や恩師の方々、信頼できる仲間がいることを、そして皆さんを育んだ堀や田んぼやコミュニティがあり、いつでも皆さんを応援していることを忘れないで下さい。

結びに、本日の成人式の開催にあたり、企画運営にご尽力をいただきました実行委員会の皆さん、お世話頂いた関係者の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

洋々たる海原に大きな夢と希望を乗せて船出する新成人の皆さんの前途に、幸多からんことを祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。

令和四年一月十日

大木町長 境 公雄